

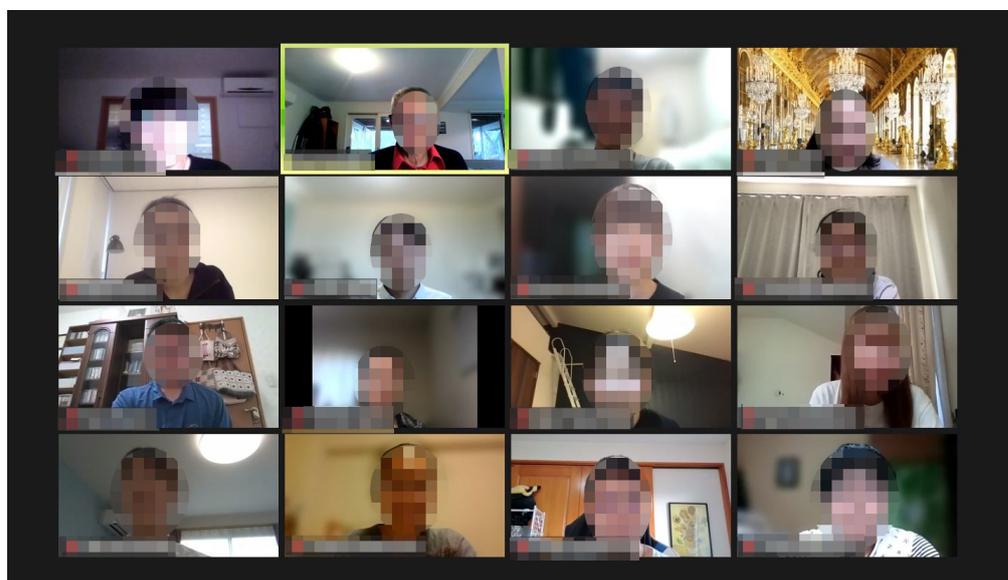
## 羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

1 系 (M) 2年 氏名 佐藤 弘樹

参加プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> モナッシュカレッジ <input type="checkbox"/> SAF 短期研修 <input type="checkbox"/> スインバン大学 <input type="checkbox"/> 湖池屋ベトナム <input type="checkbox"/> シリコンバレー <input type="checkbox"/> フリープラン型
---------	--

参加プログラム名	モナッシュカレッジ
研修期間	2021年 8月 8日 ~ 2021年 8月 27日
研修先機関名・ 所在国	モナッシュ大学(オンライン)
<b>研修の概要</b> (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	<p>私がこの研修を受けた一番の目的は英語に注力した研修を受けたかったからだ。これまでも本校のプログラムを活用し、海外実務訓練等に行ったが個人で作業する時間が長かったり、日本語が話せる人がいたりした。文化交流としては良い経験だが、語学力という側面では少し物足りなさを感じた。このプログラムは3週間英語を使い続けることができるため、非常に良い機会だと思い参加した。</p> <p>私の受けたアドバンスクラスのプログラムを簡単に説明すると、Zoomのブレイクアウトルームにてグループワークを進める形である。普段私たちが受ける一方的な授業ではなく常に対話形式となる。そのため、授業中ずっと英語を話す必要があり、即座に英語で話さなくてはならないためスピーキング能力が重要となる。</p> <p>この研修内での行動目標として積極的にアウトプットを行うと決めた。結果、ほとんどのディスカッションで良く意見交換ができたと感じた。しかしながら、非常に流暢に話す学生もおり、未熟さを実感することも多々あった。この研修を受けるメリットとして他の学生との比較ができことだ。私の場合、今までそこまで問題でないと考えた読解力に関して、他の学生と比較して劣っていると自覚できた。</p> <p>また、この研修を通して英語で様々な事柄を学ぶことの面白さを知れた。テーマのほとんどが社会問題に関することであり、知らなかったことも多くありためになった。ワークショップでも文化や歌を通して英語を学ぶなど、今まではTOEICの勉強や研究に関する面でしか英語に触れてこなかったが、もっと多角的に英語に触れることでより楽しめると感じた。</p> <p>3週間のワークを通して、英語力が実感できるほど伸びたわけではないが、モチベーションは確実に高まり、英語の楽しみ方を知れたのは今後につながると思う。</p>

活動写真 1枚  
(修了証の写真でも可)



## 羽ばたけ! TUT2021 報告書

### 研修内容

#### ① 参加の目的や動機

私がこの研修に参加した理由は純粋に英語力を伸ばしたかったからだ。このように考える理由としては2つあり、1つ目は就職先の拠点が世界各地にあり海外とやり取りを行う可能性が高いためだ。オンラインで英語の研修ができるように今後は日本にいても英語を話す機会がどんどん増えていくと思う。仕事においてもチャンスを逃さないために、英語力を十分に高めておきたいと考えた。2つ目は研究室の留学生と会話と楽しみたいと思ったためだ。留学生サポートを通して、最低限の日常会話はできるレベルには達していると自負しているが、当たり障りのない会話や簡単な冗談を言うのは難しい。研究室で行われる英語ゼミに関しては、専門用語を用いて複雑な説明を行うため、ほとんど理解できない場合が多い。

研修の中でモナッシュカレッジを選択した理由は、英語力の向上に注力したプログラムであったからだ。これまで私は学校のプログラムで海外実務訓練に参加させてもらい、文化交流や海外で働く意欲は非常に高まった。しかしながら、英語力に関しては、個人での作業時間が多い場合や、日本語を話す人が近くにいる環境でもあり、少し物足りなさを実感していた。よって英語力に注力したこのプログラムはまさに自分が求めているものであった。

#### ② 研修内容

研修内容は授業時間内と時間外で大きく分けられる。まず授業時間内の活動に関して詳細に説明する。アドバンスクラスは基本的に社会問題のテーマに関して授業を進める(例 都市の未来, 生物絶滅)。文章には非常に多くの専門用語が含まれているため、英語が得意な人でも苦勞していた印象があった。しかし、さほど心配する必要はなく、難しい用語は事前に解説されたり、クイズ形式で学べる。また、それらを使って例文を作る課題があるため、ライティング力も必要となってくる。授業の進め方はテーマに対する質問が何個用意されており、その1つ1つをグループに分かれて会話を通して答えをすり合わせるものとなる。そのため、英語を話すことは必須となる。授業のほとんどがこの会話となるため、少し難しいディスカッション形式の授業をすべて英語で受けている感じになる。テーマによっては自分たちの意見をまとめてプレゼンをする機会もあり、英語での発表の練習にも繋がると思う。

時間外に関しては、多くのワークショップが用意されており、モナッシュ大学の学生と交流する良い機会になると思う。具体的には、発音を練習したり、歌を通して英語の楽しさを学ぶワークショップ等である。どのワークショップも会話をするセッションが必ず設けられているため、時間が許す限り参加した方が多角的な英語学習が可能だと思う。特に英語の歌詞のワークショップは、どのような比喩表現が用いられているか知ることができ、これらは日本語でも難しい場合が多いが面白い表現が多かった。他にも学生が運営するリーダーシッププログラムがあり、そのプログラムにはモナッシュ大学の学生が多く参加するため、いろいろな話を聞けると共に、ネイティブの会話の早さを実感できる。

#### ③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

私は行動目標として、ディスカッションする機会が多いため、アウトプットを積極的に行うことに決めた。想定以上に授業内でのディスカッションが多かったため、自ずとアウトプットする機会が増えた。内容によっては少し難しいものも多く、そのような場合は進行役や理解が追いつかないところはどのようにそのように考えるか聞くことを心掛けた。よって十分に行動目標は達成できたと思う。しかしながら、詳細な説明をするのが苦手であり、何文にもわたって追加するような方法で話してしまう。様々な修飾表現を学び一文に入れられる情報量を増やす必要があると感じた。また、ワークを行う中で他の学

生と比べ文章の読解力がまだ足りていないことに気が付くことが出来た。語彙力も重要であるが、話の展開を推測する能力を英文を読んで身に付ける必要があると感じた。他の学生と一緒にワークを行うことで、自身が平均より優れている点と劣っている点を明確にできたため、今後に生かしていきたい。

#### ④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

研修後の行動目標として研究室の英語ゼミ等で留学生とより深い会話を行いたいと考えた。その理由として、現状留学生サポータ等を行っており、手続き等を行う際に用いる最低限の会話ができるようになってきたと感じていた。しかしながら、留学生同士の会話や英語ゼミでは会話についていけないことがほとんどであった。この研修を通して、簡単相手の意見を聴いて英語を話す瞬発力は伸びたのではないかと思う。英語文法の正しさだけでなく、レスポンスを早くするよう心掛けることが重要だと感じた。今後も留学生サポータ等を継続する予定であるため、これらの点を意識しながら続けていきたい。

行動目標の2つ目として就職後もグローバルに活躍できる人材を目指すこととした。現状のレベルでは現地で不自由なく暮らすことはできても、仕事上で必要となってくる交渉は行うことができない。仕事となると言葉の理解不足によるすれ違いが大きな損失にも繋がりがねないため、相手方の話す内容をきっちりと聞き取り、わからないところは積極的に質問することが重要だと感じた。今回の研修においてもさっぱりわからない部分もあり先生方に助言を求めた。非常に基本的な事ではあるが、理解できないところは再度聞き直すなどして理解力と精度を向上させていきたい。

#### その他感想など

研究室の留学生との会話を通して少しは英語が上達したように思っていたが、今回のディスカッション形式の授業を受けて、英語力の無さで伝えることができる情報が著しく少なくなってしまった。そのため、深い内容の話ができない。もともとディスカッションは得意な方ではあると思っていたので、なおさら良い意見が思いついても発言できないのはとてもストレスに感じた。長い時間がかかると思うが、詳細な話ができるように英語学習を進めていかななくてはならないと思った。

この3週間を通して、多くのワークショップがあり様々な英語の楽しみ方を知ることが出来た。日本で英語に触れる機会と言えば、TOEICの勉強を行うときや、研究等で海外の論文等を探している時くらいになってしまう。しかし、普段の生活の中で気になったことを日本のサイトだけでなく、海外のサイトで見ると面白いと思った。同じテーマであっても国ごとに環境も違うため、問題となる点も異なりより幅広い知識が得られると感じた。英語に触れる機会を増やすため、英語で検索する習慣をつけていきたい。